

の努力、放課後児童クラブの受け入れ範囲（小学4年生から6年生も可）の市民周知、農村環境改善センター改修時における総合交流ターミナルたきかわ（道の駅）との関連性の保持、農商工連携における地域産品などの開発・維持、時代に合致した安全・安心な公園遊具の整備、今後10年間を見据えた公園施設長寿化計画の策定などについて、より一層の努力を求めました。

また、第2予算審査特別委員会に付託されました特別会計、企業会計および関連議案についても若干の意見を付して可としました。病院事業会計では、市立病院経営計画の着実な実践と市役所・市立病院・市内医療機関が連携を密にした医師・看護師の確保、公営住宅事業特別会計では、江部乙町および東滝川地区の地域コミュニティを維持するため政策的な視点を入れた公営住宅の空き家対策などについて、努力を求めました。

公 明 党

第1予算審査特別委員会に付託された平成31年度滝川市一般会計

予算および関連議案について、若干の意見を付してすべてを可とし、修正案を否としました。

財政健全化のため、民間企業では日々改革改善を行っています。今日の厳しい財政状況の市において、民間企業の改善改革を取り入れるべきと考えます。無理無駄を改善するための手法に業務の棚卸があります。すべての業務を明確にして無理無駄を洗い出し、見直していく手法です。まずは一つの課をモデルとして実施することを求めました。

また、事業の経費削減のために契約の見直しや、事業内容を過去にとらわれないで実施すべきと考えます。財政に余裕がなければ、市民のニーズに應えるのも限りがあります。「滝川市に住んでよかった」と市民に感じていただけるよう努力を求めました。

第2予算審査特別委員会に付託された議案第2号から第8号までと関連議案について、若干の意見を付してすべてを可としました。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「財政健全化計画」の最終年度を迎えます。これまでの4

年間の総仕上げとなるとともに、未来につなぐ1年とならなければならぬと考えます。本市をはじめとする中空知地域全体の人口減少に歯止めがかからない現状において、病院事業については、近隣の自治体病院との経営統合を視野に、新年度から「仮称なかそらち公立病院設立協議会」を設置して地域の医療を守る体制を築いていただくことを期待し討論を行いました。

日本共産党

一般会計予算では、修正案を提出しました。学校給食費については、段階的無料化もされず、8年が経過しました。市長の公約であり、何とかしたいと言いつつながら8年は限界です。特に今回は、食料費の価格上昇のためとして、無償化どころか値上げの予算です。

材料費の財源を確保することは当然であり、歳出で反対するものではありません。したがって学校給食費の諸収入を約1、120万円減額し、同額繰越金を増額する修正案です。各委員に市民の立場、是々非々の立場での賛成をお願い

しました。日本共産党が考える財源案は、次のとおりです。

財源1として、市役所建設の借金返還が2019年度でようやく終わります。その後は、年額1億6、700万円を他のことに使えます。財源2として、ふるさと納税寄付金は当面5億円程度見込めそうです。経費を引いた2、3億円が使える金額です。財源3として、職員減や事業見直しで経常収支比率が改善し、道内35市の平均に近づき、自由に使えるお金が2、3億円増えました。

また、予算の優先順位として小・中・高の学校建て替えと市立病院経営安定への道内自治体の平均的な繰り出しを求めました。

第2予算審査特別委員会では、付託された議案第6号平成31年度土地区画整理事業特別会計を否とする立場で討論を行いました。

すでに工事が進み、道路についてはこの秋ごろに完成の見込みと聞いておりますが、将来に渡る道路管理について安定した維持が出来るのか疑問であることが反対理由です。